

**令和8年度
芦屋市文化推進基本計画評価報告書
(令和7年度実績)**

芦 屋 市



1 全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進

【総括】

1 重点取組項目別の総括評価

令和7年度においては、これまでの実施手法の模索や見直しを経て、「さくらまつり」、「サマーカーニバル」及び「秋まつり」などの市を代表する行事が、市民の日常生活に完全に定着した形で安定的に実施された。多くの事業において参加者数および市民団体等による文化的活動は引き続き高い水準を維持しており、地域コミュニティの再創造と、文化を通じた市民相互の交流の深化が着実に進んでいる。

また、旧山邑家住宅（ヨドコウ迎賓館）竣工100周年記念事業の成果を継承し、大阪・関西万博の「ひょうごフィールドパビリオン」等の機会を捉えた取組を展開した。ヨドコウ迎賓館の特別公開等を通じて、市内の貴重な歴史的文化遺産の価値を再認識する取組を進めたことで、市民の郷土愛や地域文化への関心はさらに深まりを見せている。

一方で、文化活動を支える担い手の高齢化や、新たな市民活動者の発掘、とりわけ若年層への効果的なアプローチについては依然として重要な課題である。今後は、デジタル基盤の活用やSNS等の広報手法を高度化し、次世代へ文化の真価をつなぐ仕組みづくりに取り組み、第3次計画へと確実につなげていく必要がある。

2 新規・拡充検討項目に関する進捗状況（主な事業）

○ 市内在住・市内出身の有名アーティストによる講演等をきっかけとした文化活動への機会の創出

【事業No. 17 ルナ・ホール事業】

取組成果：能や落語の伝統芸能、阪神間の歴史、文学、音楽、人形劇など、幅広い世代が身近に文化を楽しめる講演を実施した。

○ ICTを活用した文化芸術作品の保管・公開の検討

【事業No. なし デジタルアーカイブ】

取組成果：本市の江戸時代の絵図のデジタル化を実施した。また、本市の明治から昭和30年代の絵葉書及び古写真のデジタル化を実施した。

課題：今後、デジタル化した歴史資料のデータの保存と公開の方法について検討し、具体的にシステム等を導入する必要がある。

○ 「知の循環型社会」の推進

【事業No. 36 芦屋川カレッジ・芦屋川カレッジ大学院】

取組成果：阪神間の歴史や文化、芸術などの学びにより郷土への愛着を育んだ。係別グループによる自主運営活動を通じ、社会貢献活動の基礎を作った。修了後は同期会として社会教育関係団体として登録している。

○ 文化活動者の発掘、つながりのきっかけを創出

【事業No. 32 生涯学習推進事業（市民版出前講座）】

取組成果：本市の社会教育関係団体や、社会教育活動を通じて学んだ市民による出前講座として、あしや学びあいセミナーを実施している。14団体が登録しているが、令和7年度の講座実施は0回であった。

課題：学びあいセミナー自体の周知が必要であり、多様な要望に対応するため、協力いただく社会教育関係団体数と講座数の増加が望ましい。

【事業No. 51 生涯学習推進事業（社会教育関係団体の登録、支援）】

取組成果：社会教育関係団体の登録団体数は192団体であった。また、補助金は6件、278千円を交付した。

○ 文化芸術を通じて様々な人が交流できる仕組み・環境づくり

【事業No. 41 エントランスコンサート】

取組成果：福祉センターが市民の集いの場となるよう、エントランスコンサートを実施した。手話歌レッスンや障がいのある人などが出演し、コンサート実施回数は5回、参加者数は785人であった。

【事業No. なし 市内展示】

取組成果：令和4年度から、「障がい児・者作品展」で展示された作品について、市内店舗等に展示の協力をお願いしている。令和7年度は、関係者との調整の結果、市役所での展示となったが、障がい者・児による芸術作品等を市内店舗等で展示する機会を増やしていきたい。

○ 文化ゾーン（図書館、谷崎潤一郎記念館、美術博物館）の利点を生かした3館連携・協力事業

【事業No. 64 文化ゾーン連携事業（niwa-doku、講座の開催）】

取組成果：芦屋市谷崎潤一郎記念館及び芦屋市立美術博物館の庭を会場として、10月11日に「niwa-doku」を開催した。

【事業No. 15 谷崎潤一郎記念館管理運営事業、事業No. 16 美術博物館管理運営事業】

取組成果：文化ゾーンの3館による連携事業として、芦屋市谷崎潤一郎記念館及び芦屋市立美術博物館の庭を会場として、10月11日に「niwa-doku」を開催した。

○ 補助金の活用による文化芸術活動の機会提供の促進

【事業No. 61 学校園・家庭・地域の教育推進支援事業（コミスク活動）】

取組成果：コミュニティ・スクール10団体に対し、補助金2,548千円を交付し、コミスク活動等、地域コミュニティを醸成する事業を支援した。

【事業No. 66 芦屋市芸術文化活動助成及び顕彰】

取組成果：芦屋市芸術文化活動助成を1件実施した。また、芦屋市芸術文化活動表彰として11名、2団体を表彰した。

【事業No. 70 市民提案型事業補助金】

取組成果：市民から社会課題解決など自主的な取組として提案のあった活動に対し、補助金を交付した。交付予定額は4件、188千円であり、内訳はスタートアップ支援型2件、91千円、ステップアップ支援型2件、97千円であった。

【事業No. 71 財産区に関する事務】

取組成果：地域伝統文化として伝承される山車の維持管理に要する経費を助成することにより、地域伝統文化の振興とコミュニティの健全な発展を図った。6団体へ補助金を交付し、1基300千円、計1,800千円を交付した。

○ ソーシャルメディアを活用した情報発信

【事業No. 1 各種媒体を活用した情報発信】

取組成果：芦屋市べんり帳を発行した。また、「広報あしや」の企画「いただきますのまえとあと」を毎月連載し、12回分を冊子に取りまとめて発行した。

○ 阪神間モダニズムや日本遺産等の歴史的魅力にあふれた文化財群に関する情報発信

【事業No. 75 阪神間連携ブランド発信事業】

取組成果：阪神間お散歩マップ「ライフスタイル編」を発行し、芦屋市・西宮市・兵庫県の公共施設や阪神電鉄の駅構内にて配布した。発行部数は20,000部であった。また、過去発行分の阪神間お散歩マップ（パン・スイーツ編、建築編、アート編）を増刷し、万博関連イベントでの配布及びマップ掲載施設での再配布を行った。増刷部数は、パン・スイーツ編12,000部、建築編5,000部、アート編5,000部であった。

＜取組成果・課題＞

（１）誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり

【事業No. 2 さくらまつり開催支援】

取組成果：さくらまつり協議会への活動助成及び交通安全対策への助成を行った。令和7年4月6日に開催し、参加人数は延べ8,300人であった。また、芦屋さくらまつり補助金1,500千円、まつりの安全対策支援補助金2,000千円を交付した。

【事業No. 3 ふれ愛シネサロン】

取組成果：映画の鑑賞を通じて、人権や平和について考える機会を提供した。年3回実施し、参加者数は約530人であった。うち1回は戦後80年及び非核平和都市宣言40周年記念事業の一環として実施した。

【事業No. 5 あしや山まつり】

取組成果：ハイキングの実施、木工教室、防災用品展示と救命デモンストレーション、水消火器体験、防災食試食、電気自動車展示、キャップ野球体験、森の図書館等を実施した。

【事業No. 6 ワンコインシアター】

取組成果：名作映画の上映会を実施した。5月29日「邂逅（めぐりあい）」80人、6月26日「高慢と偏見」80人、10月23日「愛のアルバム」72人、11月27日「裏窓」104人が参加した。

【事業No. 7 ヒューマンライツシアター】

取組成果：人権、平和等に関する映画上映・世界の名作映画上映を実施した。7月24日「アナウンサーたちの戦争」79人、9月25日「52ヘルツのクジラたち」140人、12月4日「ぼくとパパ、約束の週末」121人が参加した。

【事業No. 8 保健福祉フェア】

取組成果：施設大規模改修のため中止した。

【事業No. 9 サマーカーニバル開催支援】

取組成果：芦屋市民まつり協議会への活動助成及び交通安全対策への助成を行った。来場者数は南芦屋浜周辺地域を含め39,000人であった。

【事業No. 10 ホスピタルフェスタ】

取組成果：体験コーナー、公開講座、院内コンサートを院内開放して実施した。令和7年11月7日に実施し、参加者数は400人であった。

【事業No. 18 市民会館文化事業】

取組成果：市民ステージ、市民ギャラリー、市民絵画展を実施し、多くの参加者を募った。

【事業No. 22 資料の収集・保存・提供】

取組成果：図書等貸出冊数は667,911冊、図書等予約冊数は177,903冊、資料収集（受入冊数）は10,578冊であった。

（２）文化活動を通じた地域のつながりづくり

【事業No. 23 地区集会所管理運営事業】

取組成果：指定管理者による管理運営を行い、文化活動の拠点としての場を提供した。伝統文化（行事）の継承として、餅つき大会、どんど焼き、秋祭り子どもみこし町内巡行などに活用され、実績は193回であった。

【事業No. 25 上宮川文化センター管理運営】

取組成果：上宮川文化センターの管理運営及び貸出を行った。センター直接事業参加者は21,788人、市・地域団体・公共的団体等利用者は5,615人、貸室一般利用者は23,018人であった。

【事業No. 26 通いの場づくり補助事業】

取組成果：地域の集会所等で、住民同士が身近に集まれる地域の居場所を運営する団体または個人に補助金を交付した。事業利用団体数は4団体であった。

【事業No. 27 ひとリー役活動推進事業】

取組成果：介護保険施設等や高齢者の居宅において、レクリエーションの手伝い等のボランティア活動を行う方をひとリー役ワーカーとして登録し、活動実績に応じてポイントを付与した。登録者数は115名であった。

【事業No. 28 ボランティア活動助成】

取組成果：ボランティア活動を行っているグループ等に対し、活動費やボランティア保険料を助成した。事業利用団体数は36団体であった。

【事業No. 33 文化財保護及び活用事業（ボランティアの養成）】

取組成果：文化財ボランティアの養成を行い、文化財ボランティア登録人数は5人であった。

【事業No. 35 講座・セミナー・公民館音楽会等の開催】

取組成果：春の開講記念講座では「会下山遺跡からみた近畿弥生社会」を実施した。公民館講座では「あしやの暮らし講座」を実施した。夏休みの子供教室では、ボランティアの講師と子どもたちの交流を実施した。

（３）ユニバーサル社会づくりを目指した生涯学習活動の振興

【事業No. 43 Y0クラブ活動支援】

取組成果：芦屋で結成された高齢者の文化的活動を行う団体への支援を行った。令和8年3月7日に「ふれあいの集い」を開催した。

【事業No. 44 老人クラブ活動支援】

取組成果：高齢者の地域での活動を通じた仲間づくりの活動を支援した。実績は41団体であった。

【事業No. 45 敬老会】

取組成果：高齢者を招待し、演芸鑑賞を実施した。令和7年9月20日に「敬老会」を開催し、469人が参加した。

【事業No. 46 高齢者のつどい「演芸フェスティバル」】

取組成果：高齢者を中心とした文化的活動を行っている市民グループが集い、コーラスや踊りなど日ごろの練習の成果を披露した。令和7年7月5日に「高齢者のつどい」を開催し、339人が参加した。

【事業No. 47 生きがいデイサービス】

取組成果：身近な地域で高齢者のつどいの場を提供した。内容は手芸や体操、歌や絵画などであり、令和7年度は合計414回開催し、延べ参加人数は4,890人であった。

【事業No. 53 図書館運営事業（障がい者サービス）】

取組成果：障がい者サービスとして、宅配サービスを6人に対して71回実施し、243冊を貸し出した。対面朗読は0人、0冊、デージー図書貸出は1団体、1冊であった。

【事業No. 56 老人福祉会館の運営】

取組成果：高齢者が囲碁や将棋等を楽しみながら交流を深めることができる居場所を提供した。開催日数は288日であった。

【事業No. 57 ゆうゆう倶楽部】

取組成果：小学校の敷地内に集会所を設置し、健康体操や手芸、絵画等の活動を行う市民に開放し、高齢者の居場所を提供した。実施回数は191回、利用人数は1,498人であった。

（４）文化ゾーンの活性化、各種施設の有効活用

【事業No. 19 市民センター管理運営】

取組成果：市民センター施設の管理運営及び貸出を行った。本館使用実績は6,291件、ホール使用実績は2,116件、別館使用実績は4,054件であった。

【事業No. 62 谷崎潤一郎記念館管理運営事業（施設整備）】

取組成果：市民が文学に触れることができる良質な環境づくりとして、施設整備を実施した。総入館者数は9,656人であった。

【事業No. 63 美術博物館管理運営事業（施設整備）】

取組成果：芦屋市展やワークショップにより市民が芸術活動に資することができる良質な環境づくりとして、施設整備を実施した。総入館者数は29,849人であった。

【事業No. 64 文化ゾーン連携事業（niwa-doku、講座の開催）】

取組成果：芦屋市谷崎潤一郎記念館及び芦屋市立美術博物館の庭を会場として、10月11日に「niwa-doku」を開催した。

（５）文化芸術を行う団体への支援

【事業No. 65 市民文化賞】

取組成果：文化の向上に貢献された方への顕彰、賞の贈呈を行った。令和7年度までの受賞者は、個人87人、団体68団体であった。

【事業No. 67 市後援名義の使用承認】

取組成果：活動団体に対する後援名義の使用承認を行った。市民参画・協働推進課は92件、管理課は201件であった。

【事業No. 68 地区集会所での社会教育関係団体等の使用料減免】

取組成果：地区集会所での活動促進のため、使用料を減免した。実績は1,952件であった。

【事業No. 69 市民文化振興基金の啓発事業】

取組成果：ふるさと寄附金を活用した市民文化振興基金の啓発を行った。個人32件、1,205千円、団体1件、20千円であった。

（６）文化に関する情報発信の強化

【事業No. 76 文化財保護及び活用事業（情報発信）】

取組成果：SNS等を活用した情報発信を行った。広報あしや特集記事として「阪神電車開業120周年と郊外住宅地・芦屋の誕生」及び「昭和100年」を掲載した。また、「芦屋の文化財ハンドブック」を英訳し、ホームページで公開した。

【事業No. 77 生涯学習推進事業（情報発信）】

取組成果：「広報あしや」及び「あしやトライあんぐる」でイベント等の情報及び特集番組を掲載・放映し、SNS等を活用した情報発信を行った。「広報あしや」でイベント（二十歳のつどい）の情報を掲載した。

【事業No. 78 谷崎潤一郎記念館管理運営事業（情報発信）】

取組成果：「広報あしや」及び「あしやトライあんぐる」で展覧会・イベントの開催情報を随時案内した。また、SNS（X）による情報発信を行った。

【事業No. 79 美術博物館管理運営事業（情報発信）、事業No. 80 図書館運営事業（情報発信）】

取組成果：「広報あしや」及び「あしやトライあんぐる」で展覧会・イベントの開催情報を随時案内した。また、SNS（X）による情報発信を行った。

【事業No. 81 シティプロモーション事業】

取組成果：本市の魅力を活かしたシティプロモーションを行うことで、市民のシビックプライドの醸成及び本市の住みやすさの認知度を向上させ、交流人口の増及び人口流入促進を図った。シティプロモーション用ロゴマーク使用承認は計10件、SDGsポスターを作成した。

2 未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進

【総括】

1 重点取組項目別の総括評価

令和7年度においては、次世代を担う子どもたちが質の高い文化芸術に触れ、豊かな感性と創造性を育むための機会の充実に努めた。学校教育におけるアウトリーチ事業を継続するとともに、美術博物館等の社会教育施設においてワークショップを展開し、幼少期から身近に文化に親しめる環境づくりを推進した。

また、地域の伝統行事への参画を通じて、子どもたちが地域の歴史に直接触れ、郷土への誇りを醸成するための取組についても、関係団体との連携のもとで着実に成果を上げている。

今後の課題としては、プログラムのさらなる拡充や公平な体験機会の確保が挙げられる。今後は、学校のデジタル環境や児童センター、放課後児童対策等との連携を深め、地域社会全体で子どもたちが持続的に文化に触れられるネットワークを構築し、第3次計画においてさらに深化させていく必要がある。

2 新規・拡充検討項目に関する進捗状況

○ 中学校における食育の推進

【事業No. 87 学校給食関係事務】

取組成果：学校給食展を令和7年7月24日から7月25日に市民センターで実施し、多数の市民が来場した。学校給食展の開催により、芦屋の学校給食に関する理解と、学校・家庭・地域が連携を深める機会を創出した。

○ 学校図書館の活用

【事業No. 88 読書活動推進事業】

取組成果：おはなしノート、スタンプラリーや読書記録の配布と活用、春・秋の読書週間及び月間時の読書推進啓発を実施した。小中学校における年間貸出冊数は、児童生徒一人当たり小学校104.1冊、中学校8.8冊であった。

【事業No. 99 図書館運営事業（学校・幼稚園への貸出、団体受入）】

取組成果：学校・幼稚園への団体貸出及び団体利用の受入れを行った。団体貸出は336回、2,879冊、学校巡回は249回、8,764冊であった。また、図書館見学は5小学校、427人を受け入れた。

○ 外国人児童生徒等の日本語習得支援

【事業No. 85 国際理解教育推進事業】

取組成果：外国人児童生徒等と他の児童が相互に学び合い、異文化に対する理解や関心の向上に向けた国際交流及び外国人児童生徒等の日本語習得支援を実施した。モンテベロ市の高校生が来日し、市内の小中学生と交流した。オンライン海外国際交流では全3回実施し、小中学生36名がフィリピンの子どもと交流した。初期日本語教室を潮見小学校で毎週月曜日、岩園小学校で毎週金曜日に開催した。

○ 子どもの頃から本物（一流）に出会い・体験する取組

【事業No. 86 文化体育振興事業】

取組成果：中学校総合文化祭を令和7年10月20日にルネサンスクラシックス芦屋ルナ・ホールで実施した。また、令和8年1月11日の芦屋市消防出初式では、芦屋市立精道小学校において精道中学校吹奏楽部が演奏した。芦屋市吹奏楽連盟定期演奏会を令和8年3月29日にルネサンスクラシックス芦屋ルナ・ホールで実施した。

【事業No. 89 文化財保護及び活用事業（こどもや親子対象事業）】

取組成果：子どもや親子を対象とした事業として勾玉教室を実施し、参加人数は26人であった。

【事業No. 90 美術博物館管理運営事業（こどもや親子対象事業）】

取組成果：子どもや親子を対象とした事業を実施し、小学生以上を対象としたイベントは35件であった。

【事業No. 97 味覚の1週間】

取組成果：食育の一環として「味覚の1週間」を実施した。市内の有名店のシェフによる「味覚の授業」を行い、五感を活用しながら味の基本となる4つの要素（塩味、酸味、苦味、甘味）にうまみを加えた5つの味について、味わうことの楽しさに触れた。芦屋市立小学校4校（精道小・岩園小・山手小・宮川小）で実施した。

○ 地域への愛着や誇りを育み交流を促進する機会の創出

【事業No. 91 あしやキッズスクエア】

取組成果：小学校の児童が放課後に校庭・校舎を利用した遊びやスポーツ体験等を行い、地域の方等の見守りの下で安全に過ごす居場所を提供した。体験プログラムは463回実施し、プログラム参加児童は延べ3,272人であった。

【事業No. 95 トライやる・ウィーク推進事業】

取組成果：中学校2年生が、一週間の職場体験等を通して地域について学び「生きる力」を育むトライやる・ウィークを実施した。精道中学校は令和7年5月19日から5月23日に219名、山手中学校は令和7年5月26日から5月30日に129名、潮見中学校は令和7年6月2日から6月6日に101名が参加した。

【事業No. 96 特色ある学校園づくり支援事業】

取組成果：教育ボランティアによる読み聞かせや日本文化学習等を行った。学校園が活用した年間の教育ボランティア延べ人数は234人であった。

○ アプリやホームページ等を活用した情報発信

【事業No. 101 子育て情報の発信】

取組成果：子育てサポートブック「わくわく子育て」のほか、ホームページやスマートフォンアプリを活用した子育て情報の発信を行った。登録者数は令和8年3月31日時点で1,137人、掲載件数は令和7年4月1日から令和8年3月31日までで、お知らせ76件、イベント2,620件であった。

【事業No. 103 美術博物館管理運営事業（情報発信）】

取組成果：SNS（X）で子ども向けイベント情報を発信した。また、展覧会の子ども用チラシを市内の公立小学校・中学校の全児童・生徒に配信した。

＜取組成果・課題＞

（１）豊かな情操を育む体験活動の推進

【事業No. 82 児童センター映画会】

取組成果：子どもの想像力や表現力を養い、文化・芸術活動を高めることによる児童の健全育成を推進した。春休み映画会「ざんねんないきものじてん」を実施し、101人が参加した。

【事業No. 83 児童健全育成事業（小学生を対象の体験活動）】

取組成果：小学生を対象に、芸術、文化、運動などの分野での体験活動を通じた児童の健全育成を推進した。オリジナルパズルは127人、春休み「ミニアレンジ」は24人が参加した。

【事業No. 84 生活発表会】

取組成果：幼稚園、認定こども園、保育所での劇遊びや音楽遊び等の文化活動を通じた発表を実施した。認定こども園・保育所所園において12月に実施した。

【事業No. 85 国際理解教育推進事業】

取組成果：外国人児童生徒等と他の児童が相互に学び合い、異文化に対する理解や関心の向上に向けた国際交流及び外国人児童生徒等の日本語習得支援を実施した。モンテベロ市の高校生が来日し、市内の小中学生と交流した。オンライン海外国際交流では全3回実施し、小中学生36名がフィリピンの子どもと交流した。初期日本語教室を潮見小学校で毎週月曜日、岩園小学校で毎週金曜日に開催した。

【事業No. 86 文化体育振興事業】

取組成果：中学校総合文化祭を令和7年10月20日にルネサンスクラシックス芦屋ルナ・ホールで実施した。令和8年1月11日の芦屋市消防出初式では、芦屋市立精道小学校において精道中学校吹奏楽部が演奏した。芦屋市吹奏楽連盟定期演奏会を令和8年3月29日にルネサンスクラシックス芦屋ルナ・ホールで実施した。

【事業No. 87 学校給食関係事務】

取組成果：学校給食展を令和7年7月24日から7月25日に市民センターで実施し、多数の市民が来場した。芦屋の学校給食に関する理解と、学校・家庭・地域が連携を深める機会を創出した。

【事業No. 88 読書活動推進事業】

取組成果：おはなしノート、スタンプラリーや読書記録の配布と活用、春・秋の読書週間及び月間時の読書推進啓発を実施した。小中学校における年間貸出冊数は、児童生徒一人当たり小学校104.1冊、中学校8.8冊であった。

【事業No. 89 文化財保護及び活用事業（こどもや親子対象事業）】

取組成果：子どもや親子を対象とした事業として勾玉教室を実施し、参加人数は26人であった。

【事業No. 90 美術博物館管理運営事業（こどもや親子対象事業）】

取組成果：子どもや親子を対象とした事業を実施し、小学生以上を対象としたイベントは35件であった。

【事業No. 91 あしやキッズスクエア】

取組成果：小学校の児童が放課後に校庭・校舎を利用した遊びやスポーツ体験等を行い、地域の方等の見守りの下で安全に過ごす居場所を提供した。体験プログラムは463回実施し、プログラム参加児童延べ3,272人であった。

【事業No. 94 児童健全育成事業（親子・保護者の交流）】

取組成果：親子での様々な遊びの中で、親子の結びつき、保護者間の交流を促進した。グッピークラブ27回1,090人、うさぎクラブ28回974人、こぐまクラブ27回615人、親子パーク4回185人を実施した。

（２）地域社会とのつながりによる文化体験

【事業No. 95 トライやる・ウィーク推進事業】

取組成果：中学校2年生が、一週間の職場体験等を通して地域について学び「生きる力」を育むトライやる・ウィークを実施した。精道中学校は令和7年5月19日から5月23日に219名、山手中学校は令和7年5月26日から5月30日に129名、潮見中学校は令和7年6月2日から6月6日に101名が参加した。

【事業No. 96 特色ある学校園づくり支援事業】

取組成果：教育ボランティアによる読み聞かせや日本文化学習等を行った。学校園が活用した年間の教育ボランティア延べ人数は234人であった。

【事業No. 97 味覚の1週間】

取組成果：食育の一環として「味覚の1週間」を実施した。市内の有名店のシェフによる「味覚の授業」を行い、五感を活用しながら味の基本となる4つの要素（塩味、酸味、苦味、甘味）にうまみを加えた5つの味について、味わうことの楽しさに触れた。芦屋市立小学校4校（精道小・岩園小・山手小・宮川小）で実施した。

【事業No. 98 あしやキッズスクエア】

取組成果：小学校の児童が放課後に校庭・校舎を利用した遊びやスポーツ体験等を行い、地域の方等の見守りの下で安全に過ごす居場所を提供した。

【事業No. 99 図書館運営事業（学校・幼稚園への貸出、団体受入）】

取組成果：学校・幼稚園への団体貸出及び団体利用の受入れを行った。団体貸出は336回、2,879冊、学校巡回は249回、8,764冊であった。また、図書館見学は5小学校、427人を受け入れた。

【事業No. 100 児童センター子育て講演会】

取組成果：子育て、教育について様々なテーマで講演会を実施した。子育て講演会「0～6歳のからだと心を守る性教育」～今日から家庭でできるやさしい関わり～を開催し、24人が参加した。

【事業No. 102 学校園・家庭・地域の教育推進支援事業】

取組成果：家庭教育支援として事業を実施した。補助金はPTA713.5千円、消耗品補助は学校支援ボランティア63千円であった。

（３）親子に向けた積極的な情報発信

【事業No. 101 子育て情報の発信】

取組成果：子育てサポートブック「わくわく子育て」のほか、ホームページやスマートフォンアプリを活用した子育て情報の発信を行った。登録者数は令和8年3月31日時点で1,137人、掲載件数は令和7年4月1日から令和8年3月31日までで、お知らせ76件、イベント2,620件であった。

【事業No. 103 美術博物館管理運営事業（情報発信）】

取組成果：SNS（X）で子ども向けイベント情報を発信した。また、展覧会の子ども用チラシを市内の公立小学校・中学校の全児童・生徒に配信した。

【事業No. 104 各種媒体を活用した情報発信（1-（1）（6）再掲）】

取組成果：「広報あしや」に加え、インターネットを中心とした動画配信など様々な媒体での情報発信を行った。

3 芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり

【総括】

1 重点取組項目別の総括評価

令和7年度においては、本市独自の「芦屋文化」や歴史的景観といった地域資源を、大阪・関西万博の「ひょうごフィールドパビリオン」等の機会を捉えて活用し、本市の都市格を国内外へ発信する取組を展開した。文化施設や歴史的建造物を核として、本市が守り続けてきた「暮らし文化」の真価を広く共有することで、シビックプライドの醸成と持続可能な都市価値の向上を連動させる施策を推進した。

また、市民、事業者、行政が一体となった良質な景観の形成に向けた活動を通じて、芦屋らしい品格ある住環境の維持・継承に努めた。国際交流においても、多言語による情報発信や文化体験の提供により、多様な文化が共生する「国際文化住宅都市」としての基盤強化を進めている。

今後の課題としては、点在する文化資源の有機的な連携や、多様な主体との協働による芦屋固有の文化資源を活かした暮らし文化の継承が挙げられる。今後は、地域の事業者や市民団体等と連携してデジタル技術を活用し、市民が誇りを持てる持続可能な住宅都市の形成に向け、第3次計画に基づく仕組みを構築していく必要がある。

2 新規・拡充検討項目に関する進捗状況

○ 多言語への翻訳や「やさしい日本語」による情報発信による交流機会の創出

【事業No. 105 潮芦屋交流センター事業】

取組成果：潮芦屋交流センターでの多文化理解や文化活動を推進するため、セミナー、コンサート、世界の料理教室、ワールドフェスタ、講演会、文化教室、国際親善イベント等を実施した。参加人数は、セミナー117人、コンサート346人、世界の料理教室250人、ワールドフェスタ780人、講演会66人、文化教室138人であった。また、在住外国人が参画する事業は137人、日本語関係事業は1,935人であった。

【事業No. 106 姉妹都市交流事業】

取組成果：姉妹都市学生親善使節の相互派遣事業を実施した。芦屋市から2人がモンテベロ市へ訪問し、モンテベロ市から2人が芦屋市を訪問した。交流事業の参加人数は891人であった。

○ 周辺地域や店舗等が連携し、地域に応じた公園の利活用

【事業No. 113 庭園都市推進事業】

取組成果：「芦屋オープンガーデン」として、花と緑いっぱいのまちづくりに向けた市民との協働を目的に、個人宅、マンション敷地、学校園、公園で活躍されている個人・団体から参加を募り、庭や花壇を公開するイベントを行った。参加団体数は177団体であった。

【事業No. 114 景観形成推進事業】

取組成果：市民の景観意識を高める取組として景観フォーラムを実施した。都市景観賞表彰を行い、来場者数は179名、アンケート回収数は37名であった。

○ 地域・学校園等との連携

【事業No. 99 図書館運営事業（学校・幼稚園への貸出、団体受入）】

取組成果：学校・幼稚園への団体貸出及び団体利用の受入れを行った。団体貸出は336回、2,879冊、学校巡回は249回、8,764冊であった。また、図書館見学は5小学校、427人を受け入れた。

【事業No. 118 学校園・家庭・地域の教育推進事業】

取組成果：本の虫ねっと連絡会への参加及び調整等の支援を行い、連絡会を2回実施した。

【事業No. 119 公民館図書室】

取組成果：芦屋市図書館本館のシステム更新に伴い、公民館図書室にもIC機器の導入を終え、図書室資料等の効率的な管理や市民サービスの向上を図るよう取り組んだ。

○ 大人も子どもも楽しめるレクリエーションの実施

【事業No. 20 おはなしの会（子ども・大人）】

取組成果：大人で楽しむおはなしの会を2回実施し、24人が参加した。親子で楽しむおはなしの会は8回、54人、親子で楽しむえほんの会は8回、72人、ちいちゃなこどものおはなしかいは12回、184人が参加した。

【事業No. 21 金曜シネサロン】

取組成果：設備の老朽化もあり休止としたが、代替事業として、ふれ愛シネサロン及び里親制度映画会を実施した。ふれ愛シネサロンは2回、135人、里親制度映画会は2回、47人であった。

【事業No. 127 読書講演会】

取組成果：読書講演会として「マレットファン夢のたね」を1回実施し、91人が参加した。

○ 電子図書館など読書に親しむことができる環境の整備

【事業No. 121 図書館運営事業（收集整理利用）】

取組成果：資料の収集・整理・貸出及びレファレンスサービスを実施した。図書受入は10,578冊、レファレンスは250件であった。

【事業No. なし 図書館運営事業（電子図書の導入）】

取組成果：電子図書の導入などにより、幅広い世代において読書に親しむことができる環境を整備した。閲覧数は31,951回、貸出数は10,459点、予約数は739件であった。

課題：引き続き電子図書館の周知とコンテンツの充実に取り組む必要がある。

【事業No. 120 図書館施設整備事業】

取組成果：老朽化した施設・設備の保全と、市民・利用者へ快適な読書環境を整備するため、冷温水発生機を更新し、図書返却ポストを増設した。

○ さまざまなメディアを通じた地域の魅力発信

【事業No. 81 シティプロモーション事業】

取組成果：本市の魅力を活かしたシティプロモーションを行うことで、市民のシビックプライドの醸成及び本市の住みやすさの認知度を向上させ、交流人口の増及び人口流入促進を図った。シティプロモーション用ロゴマーク使用承認は計10件、SDGsポスターを作成した。

【事業No. 131 積極的な地域情報の発信】

取組成果：「広報あしや」を活用した季節を感じる写真の掲載等、ホームページの広報カメラアイ、思い出写真館、アーカイブの掲載を引き続き実施した。

○ 魅力発信における近隣市や学校などとの連携

【事業No. 75 阪神間連携ブランド発信事業】

取組成果：阪神間お散歩マップ「ライフスタイル編」を発行し、芦屋市・西宮市・兵庫県の公共施設や阪神電鉄の駅構内にて配布した。発行部数は20,000部であった。また、過去発行分の阪神間お散歩マップ（パン・スイーツ編、建築編、アート編）を増刷し、万博関連イベントでの配布及びマップ掲載施設での再配布を行った。

【事業No. 136 文化財保護及び活用事業】

取組成果：本市ゆかりの文化財等を調査研究し、本市の魅力として広く発信した。史跡会下山遺跡の管理団体に指定された。

<取組成果・課題>

（１）暮らしに根ざした文化交流のまちづくり

【事業No. 104 各種媒体を活用した情報発信】

取組成果：「広報あしや」に加え、インターネットを中心とした動画配信など様々な媒体での情報発信を行った。

【事業No. 105 潮芦屋交流センター事業】

取組成果：潮芦屋交流センターでの多文化理解や文化活動を推進するため、セミナー、コンサート、世界の料理教室、ワールドフェスタ、講演会、文化教室、国際親善イベント等を実施した。参加人数は、セミナー117人、コンサート346人、世界の料理教室250人、ワールドフェスタ780人、講演会66人、文化教室138人であった。また、在住外国人が参画する事業は137人、日本語関係事業は1,935人であった。

【事業No. 106 姉妹都市交流事業】

取組成果：姉妹都市学生親善使節の相互派遣事業を実施した。芦屋市から2人がモンテベロ市へ訪問し、モンテベロ市から2人が芦屋市へ訪問した。交流事業の参加人数は891人であった。

【事業No. 108 生涯学習推進事業（団体等の支援）】

取組成果：社会教育関係団体公募提案型補助金制度による支援を行った。補助金は6件、278千円であった。

【事業No. 109 文化財保護及び活用事業、事業No. 110 谷崎潤一郎記念館管理運営事業、事業No. 111 美術博物館管理運営事業】

取組成果：本市ゆかりの文化財に対する理解や関心を深める展示やイベント等を実施し、「広報あしや」及び「あしやトライあぐる」でイベント等の情報及び特集番組を掲載・放映した。また、SNS等を活用した情報発信を行った。

（2）芦屋らしい良好な住まい・景観づくり

【事業No. 112 道路の改良事業】

取組成果：都市防災の強化、通行空間の安全性及び快適性の向上、良好な都市景観の形成を目的として、引き続き無電柱化を推進した。六麓荘地区無電柱化工事を実施した。

【事業No. 113 庭園都市推進事業】

取組成果：「芦屋オープンガーデン」として、花と緑いっぱいのまちづくりに向けた市民との協働を目的とし、個人宅、マンション敷地、学校園、公園で活躍されている個人・団体から参加を募り、庭や花壇を公開するイベントを行った。参加団体数は177団体であった。

【事業No. 114 景観形成推進事業】

取組成果：市民の景観意識を高める取組として景観フォーラムを実施した。都市景観賞表彰を行い、来場者数は179名、アンケート回収数は37名であった。

【事業No. 115 文化財保護及び活用事業】

取組成果：会下山遺跡・金津山古墳・朝日ヶ丘遺跡の環境保全を行った。金津山古墳、朝日ヶ丘町遺跡、会下山遺跡で草刈を2回実施し、金津山古墳で高木剪定を1回実施した。

(3) 読書のまちづくりの推進

【事業No. 116 図書館活動支援事業】

取組成果：施設内にある図書室に子育て支援本コーナー及び新着絵本コーナーを設置し、本の閲覧、貸出を実施した。利用者数は7,641人であった。

【事業No. 119 公民館図書室】

取組成果：芦屋市図書館本館のシステム更新に伴い、公民館図書室にもIC機器の導入を終え、図書室資料等の効率的な管理や市民サービスの向上を図るよう取り組んだ。

【事業No. 120 図書館施設整備事業】

取組成果：老朽化した施設・設備の保全と市民・利用者へ快適な読書環境を整備するため、冷温水発生機を更新し、図書返却ポストを増設した。

【事業No. 121 図書館運営事業（收集整理利用）】

取組成果：資料の収集・整理・貸出及びレファレンスサービスを実施した。図書受入は10,578冊、レファレンスは250件であった。

【事業No. 122 図書館本館こどもおはなしの会】

取組成果：小学生対象のおはなし会を実施した。実績は94回、445人であった。

【事業No. 123 打出分室こどもおはなしの会】

取組成果：親子を対象としたおはなし読み聞かせを実施した。実績は12回、125人であった。

【事業No. 124 絵本の会】

取組成果：未就学児対象の絵本の読み聞かせを実施した。実績は94回、426人であった。

【事業No. 125 小学生の本の部屋】

取組成果：小学生を対象とした読書案内等を実施した。実績は2回、31人であった。

【事業No. 126 夏休み怖くて楽しいおはなしの会】

取組成果：怖い話に特化したおはなし会を実施した。実績は2回、63人であった。

【事業No. 127 読書講演会】

取組成果：講演会として「マレットファン夢のたね」を実施した。実績は1回、91人であった。

【事業No. 128 図書館ガイドツアー】

取組成果：図書館職員が施設のバックヤードを案内する事業であり、現在は要望があれば図書館見学として実施している。

（４）文化を通じたまちの魅力の一体的な発信

【事業No. 131 積極的な地域情報の発信】

取組成果：「広報あしや」を活用した季節を感じる写真の掲載等、ホームページの広報カメラアイ、思い出写真館、アーカイブの掲載を引き続き実施した。

【事業No. 132 芦屋まちデザインラボの開催】

取組成果：市制施行80周年記念事業の一環として、市民活動促進事業を実施するため、芦屋まちデザインラボのコンセプトやロゴマークの作成、市民活動促進支援等について、制度設計に向けて検討したが、実施には至らなかった。

【事業No. 135 富田碎花顕彰事業】

取組成果：本市ゆかりの芸術家や作家及びその作品、文化財等を調査研究し、本市の魅力として広く発信した。富田碎花賞応募者数は150人、富田碎花旧居入館者数は580人であった。

【事業No. 136 文化財保護及び活用事業】

取組成果：本市ゆかりの文化財等を調査研究し、本市の魅力として広く発信した。史跡会下山遺跡の管理団体に指定された。

【事業No. 137 谷崎潤一郎記念館管理運営事業、事業No. 138 美術博物館管理運営事業】

取組成果：本市ゆかりの作家及びその作品等を調査研究し、本市の魅力として広く発信した。芦屋市谷崎潤一郎記念館及び芦屋市立美術博物館の庭を会場として、10月11日に「niwa-doku」を開催した。

回答様式③ 第2次芦屋市文化推進基本計画（別冊）指標の達成状況

指 標	単 位	現状値 (R6実績)	めざす値 (R7)	現状値 (R7実績)
1 全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進				
①この1年間における文化体験・活動の有無	%	78.0	70.0	—
②公民館講座等の受講率	%	77.9	85	78.9
③1年間で自発的に学びを得る機会があった人の割合	%	35.1	52	—
④芦屋市内の主な歴史的・文化的な資源の知っている割合	%	82.7	70	—
⑤美術博物館の展覧会の満足度	%	39.9	50	51.0
⑥「広報あしや」の市民の満足度	%	67.5	70.0	—
⑦市ホームページの市民の満足度	%	34.4	60.0	—
2 未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進				
⑧あしやキッズスクエアでのプログラム実施回数	回／年	459	920	463
⑨学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上、読書をする（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）生徒の割合	% (小学生)	—	22	—
	% (中学生)	—	15	—
3 芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり				
⑩NPOなどの団体と協働して開催した国際理解を深めるための講座の参加者数	人／年	282	250	241
⑪地域におけるまちなみとまちなかの緑の景観の美しいと感じている人の割合	%	95.1	91.3	—
⑫公園を年数回以上、利用したことがある人の割合	%	45.1	60.0	—
⑬公立図書館における市民1人当たりの図書貸出冊数	冊／年	7.3	8	7.3
⑭「定住意向」に対して、「今の場所に住み続けたい」「市内の他の場所で住み続けたい」と回答した割合	%	86.4	84.3	—